

緊急開催！

事前申込制

無 料

リスクを低減させる 「パテントクリアランス」構築セミナー

2017 年 9 月 29 日 (金) 14:00 ~ 17:00 懇親会 (無料) 17:00 ~ 18:00

株式会社発明通信社 本社 (東京都千代田区内神田 1-12-2)

今春、日本の大手自動車メーカーが、自動車に使われている部品が特許権を侵害している恐れがあるとして、米国企業に特許侵害で訴えられました。この米国企業がパテント・トロールとして有名な企業であることが分かり、対象がハイテク分野から日本の自動車産業に移ったことで、知財業界を驚かせたのは記憶に新しいのではないのでしょうか。パテント・トロールに狙われるのは大企業、部品メーカーだから対策は不要、と油断されている方も多いと思います。近年、部品メーカーが納品先から、納入製品・部品が他社特許を侵害しない保証や、侵害している場合の責任を取ることを求められる、**特許保証**と**特許補償**が話題になることがあります。今回のパテント・トロール問題が、この2つの『ホショウ』を加速させるかもしれません。**貴社では、十分な対策を行っていますか。**

本セミナーでは「特許クリアランス」をテーマに状況を整理、問題を明らかにし、解決手段をご提案いたします。

第1部「部品ビジネスと知的財産」

田端 泰広

【講師略歴】

(株)リコーの法務本部企画室長、同本部長、リコーテクノロジー(株)代表取締役を歴任。現在、金沢工科大学客員教授、発明通信社顧問を兼任。

一口に部品メーカーといっても、開発部品か汎用部品かで契約に及ぼす力関係が異なります。本セミナーでは、事例紹介を切り口に、部品事業の類型や、供給側と購買側のビジネスと知財の考え方について解説いたします。その上で、特許保証と特許補償を検討する際の重要な要素である部品メーカーにおける知財戦略と特許調査の必要性を提示いたします。

第2部「特許クリアランスと調査 ～事例紹介～」

鷲田 公一

【講師略歴】

元大手電気メーカーの知財部勤務、現鷲田国際特許事務所 所長弁理士。

特許クリアランスを目的とした調査について解説いたします。対象範囲、報告事項、鑑定の有無などを打ち合わせし、調査を実施いたします。事業参入する対象国が日本以外の場合にも対応可能です。各事例でのポイントと報告概要を複数、解説いたします。

下記の必要事項をご記入いただき、「個人情報利用」に同意の上、お申し込み下さい。



FAX: 03-5281-5512

E-Mail: seminar_t@hatsume.co.jp



懇親会への出欠 (どちらかにチェックを付けてください)

(出席 / 欠席)

貴社名			
部署名		TEL	
ご住所	〒		
ご芳名		E-Mail	

個人情報利用の
同意内容

お客様にご記入頂きました個人情報は、お客様との契約履行のためまたはセミナー、取り扱い商品、技術情報に関するご案内、お客様へ提供した製品のサポート、メンテナンスを実施させて頂くために弊社において利用いたします。

個人情報取り扱いについて

- 1、お客様にご記入頂きました個人情報は、弊社によって適切に管理し、情報の紛失、破壊、改ざん、及び漏洩等が起きぬよう安全対策を講じます。
- 2、弊社は、お客様にご記入頂きました個人情報をお客様の同意がない限り第三者に提供いたしません。

株式会社発明通信社

TEL: 03-5281-5511

(201709_パテントクリアランス構築セミナー)

挨拶

14:05 ~ 15:35

第1部：部品ビジネスと知的財産

15:35 ~ 15:50

休憩

15:50 ~ 16:30

第2部：特許クリアランスと調査 ～事例紹介～

16:30 ~ 17:00

調査商品のご紹介

(17:00 ~ 18:00)

懇親会（自由参加）

(株) 発明通信社

第2部にてご案内する「FTO (Freedom to operate) 調査」について

自社の実施行為が、他社の特許権等を侵害していないかどうかを検討するための文献収集、および、侵害性の鑑定を行う調査です。鑑定の度合いについては依頼の内容により調整いたします。

調査手順 1

ご指定いただいた対象国ごとに、関連特許を集めます。

観点を元にキーワードを検討、必要に応じて英語や原語へ展開し、検索を行います。

[illegible]

調査手順 2

関連特許の内容を読み込み、要注意案件の絞り込みを行います。報告書の形式や、評価についてどこまで依頼されるかによって、法律状態や内容の記載、評価や関連するポイント、判定と判断理由等の記載を行います。

判定に集約

者	判定	要約	請求の範囲	査定種別	最終処分
太郎	C	【目的】シングル・サインオンの認証を強化する。【構	【請求項1】ウェブ・サーバーにおいて携帯電話が認証されたことにより上記ウェブ・サーバへ異なる	審査係属中	
ドラ	C	【C】(信頼されるコンピュータ)技術に基づ	【請求項1】SSO(シングル・サインオン)技術を使用してセキュアなパスワード管理を実行するた	登録査定	特許／登録
一郎	B	【課題】個人情報の入力必須とする個別サイバ	【請求項1】ネットワークに接続可能なユーザ端末、前記ネットワークを介して前記ユーザ端末	登録査定	特許／登録
貴宏	B	【課題】複数の事業者において取得された顧客情報	【請求項1】複数の事業者によって管理された顧客情報を管理する顧客情報管理システムであって、	審査係属中	
	B	【課題】異なる利用サーバのユーザ認証システムを	【請求項1】利用サーバを行うサービスシステムと、ネットワークを介して端末から認証情報が入	審査係属中	
ンズ		システム間シングルサインオンのための技術は、シ	【請求項1】システム間シ		
下村	A	【課題】サービスサーバのシングルサインオンへの対応	【請求項1】通信手段、前記通信手段に接続された、利用者が操作する利用者端末、前記通信	登録査定	特許／登録

査定や最終処分を追加！

判定とその理由を明記

	出願人／権利者	判定	判 断 理 由
ス運行 方法	△△△株式会社	C	バス位置を追跡して駅ごとに入バスの到着時刻通知する点で類似する。しかし、ダイヤ修正装置が運行ダイヤと追跡情報に基づいて駅ごとに入バスの到着時刻を予測する点で、本件情報提供システムと相違する。
	△△△株式会社	C	運行管理システムからダイヤデータを取得し、運行状況を端末に提供する点で類似する。しかし、特定のバス毎に計画ダイヤと走行実績を表示する点で、本件情報提供システムと相違する。
テ、路 ームパ	株式会社ナビタイムジャパン	A	路線データと時刻表データに基づいて運行状況を表示する点で類似する。しかし、基準時刻に各路線が運行しているかを判断し、運行の有無を区別可能に表示し、かつ、駅名、路線部分を段階的に表示する点で、本件情報提供システムと相違する。

判定と関連するポイント記載

[illegible]

対象国に外国が有る場合、英語や日本語での記載を行うこともあります。

[illegible]